

事業番号	14 06 02	事業改善シート（26年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校人権教育振興事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	心の支援課	
	施策の総合的展開	7-1子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 3豊かな心と健やかな身体の育成			E-mail	<a href="mailto:kokoro@pref.nagano.lg.jp">kokoro@pref.nagano.lg.jp</a>	
				実施期間	S33 ~		

## 1 事業の概要

目指す姿	一人ひとりの児童生徒が人権の意義・内容や重要性について理解し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにする。		
現状（予算編成時）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒に対して、人権を尊重する社会を築いていく十分な意欲と実践力を育てることのできる人権感覚及び指導力を持った教師の育成が求められている。</li> <li>○人権教育推進の取組状況について、各学校及び学校種による差異が見られる。</li> <li>○インターネットやケータイを使った新たな人権侵害等が発生している。</li> <li>○同和教育推進教員経験者が、学校現場を去る時代を迎え、地域に根ざして取り組んできた成果等の継承が課題である。</li> </ul>		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 人権教育及び人権啓発に関する法律	
	県民との協働による実施： 検討中		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校人権教育研修会やファシリテーター研修会等により、教職員自らの人権感覚の向上を目指すとともに、人権に関する知的理解を深め、新たな指導法を学べるようにする。</li> <li>○学校人権教育研修会に全ての学校からの参加を得られるようにする。</li> <li>○各学校において人権教育を推進するファシリテーターを育成するため、研修会を開催し、65名以上の参加を得る。</li> </ul>						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H26事業実績			
				H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)	
	学校管理職人権研修会	直接	・管理職研修会(県下2か所)		32	32	31
	学校人権教育研修会	直接	・人権教育担当者研修会(県下4か所) ・人権教育ファシリテーター研修会(1会場)		435	267	434
	学校人権教育啓発広報事業	直接	人権に係るポスター・作文の募集		3	3	7
			合計		470	302	472

事業コスト	区分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27年度
	予算額	前年度繰越				
		当初予算	468	468	470	472
		補正予算				
		合計(A)	468	468	470	472
	Aの財源	一般財源	468	468	470	472
		県債				
		国庫支出金				
		その他	0	0	0	0
	決算額(B)	336	443	302		
概算人件費	職員数(人)	5.50	5.50	5.50	5.50	
	概算人件費(C)	45,419	45,419	45,419	45,419	
概算事業費(B(A)+C)	45,755	45,862	45,721	45,891		

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27 目標
		目標	成果	達成状況	
学校人権教育研修会参加者	600人	645人	743人	達成	645人
ファシリテーター研修会参加者	60人	65人	74人	達成	65人
ポスター・作文の応募件数	13,550件	15,000件	17,951件	達成	15,000件

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校人権教育研修会については、各小、中、特別支援学校及び高校から最低1名の参加をほぼ達成しており、学校における人権教育に対するニーズの高さを伺うことが出来る。</li> <li>・ファシリテーター研修会については、講師・内容とも改訂したため参加者が増え、理論と実践の両方を学ぶ機会を作ることができた。</li> <li>・ポスター・作文の応募については、中学生の作文において法務局との共催により多くの応募件数を得ることができた。</li> </ul>
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場の声や人権教育実施調査の結果、社会情勢を鑑み、研修内容を精査し、各研修会をより充実したものにしていく。</li> <li>・学校の授業や、社会における取組と連動したポスター及び作文が応募されるよう、学校に対してさらに呼びかけを高めていく。</li> </ul>